

Glocal SDGs賞

茨城県立並木中等教育学校

BAB

ゴミの削減・リサイクルで少しでも世界がよくなるように



巻き芯をリサイクルに出したときに
その企業さんからきた感謝状



回収した文房具の仕分け



ゴミ拾い

活動期間

2022年1月～（10回ほど活動）

構成人数

高校生6名・大人1名

SDGs
テーマ



推薦メッセージ

本校はSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校であり、その一環として生徒の自発的な活動を支援しています。その内容は何でもよいとしておりますが、彼女たちは中学2年次から現在まで3年間一貫して「世の中のために自分たちができること」を考えて活動しています。誰かに褒められたい、アピールしたいという気持ちは一切感じられず、本当に自分たちがしたくてやっていることが一緒に活動していて伝わってきます。これはまさしくSDGsの理念に合致すると思ひ、推薦いたします。

茨城県立並木中等教育学校 教諭 林 拓哉

活動内容

1 落ち葉活用

駐輪場や校門付近の掃除で集められた落ち葉を校庭の一角に埋めて、土を作ります。落ち葉をゴミとして捨てるのではなく、自然に返すことで、ゴミの削減や自然の循環を保つことができるという効果があります。

2 ゴミ拾い

昼休みや放課後、休日を利用して、校内や学校付近の道のゴミ拾いを行っています。毎日登下校で通る道、生活する場所をきれいに保ちたいという思いから始めました。中には、土に覆われているために取りづらいものもありますが、見逃さないようにしています。

3 巻芯回収

文化祭の準備期間に、校内7箇所にボックスを設置し、粘着テープ（ガムテープやセロハンテープなど）の巻芯の回収をしています。この活動を行うのは今年が2回目で、今年は、去年回収した数より多い150個を目標に回収を行いました。全部で229個の巻芯を回収することができました。回収し



回収した巻芯

活動内容

た巻芯は、リサイクルのプロジェクトを行っている企業に送り、森の保全活動や、植樹活動に役立てられます。

回収した巻芯はダンボールに入れて企業まで送りますが、その際になるべく小さいダンボールに収まるようにガムテープの巻芯などの大きめのものは、潰したりするなどの工夫をおこなっています。

4 文房具回収

私たちは、参加賞やプレゼントとして文房具をいただくことがたくさんありました。できるだけ文房具は最後まで使おうと努力はしていますが、やはり使わない文房具も出てきます。そこで、まだ使える文房具を捨ててしまうのではなく何かに活用できないかと思い、発展途上国の子ども達への寄付を考え、学校で文房具回収活動を始めました。この活動は、文房具全般を校内の6箇所を設置したボックスで回収し、多くの文房具の寄付をいただきました。今年初めて行った活動ですが、計785個の文房具を回収することができました。回収した文房具は、全て種類ごとに仕分けして使えるかどうかの確認も済ませており、NPO法人を通して途上国の子供達の元へ届きます。回収した文房具の中にはインクがないペンやボロボロになった消しゴムもありましたが、ほとんどがまだ全然使える綺麗な文房具でした。

01.活動をはじめたきっかけ

勉強以外のことに熱中できるなら 社会の役に立つことを

中高一貫校の利点として、高校受験がないため中学3年生の時期を勉強だけでなく他の活動（特に社会問題の解決）にも熱中するために使うことができるということが挙げられます。

そのため、私たちはこの利点を生かして、何か社会の役に立つ行動をしたいと思ったことがきっかけです。社会問題の解決に貢献するために活動することは、とても楽しく、やりがいがありますが、学生時代はそのような活動はもちろん、勉強に励むことも重要です。そこで、私たちは自分たちが勉強との”両立”をはかりながら”できることをする”ことをモットーに活動しています。

そして、”私たちの活動を通して、少しでも世界がよくなるように”という意味を込めて、団体名は”Better And Better”(略称BAB)としました。

02.活動から学んだ・感じたこと

一人ひとりの心がけと協力によりよい環境へ

落ち葉活用では土を掘りおこす作業や落ち葉の中に混ざっているゴミを分別する作業はとても大変でしたが後日掘りおこした時に落ち葉が全て土に還っていて達成感を覚えました。

ゴミ拾いではゴミが近くの用水路に流れる可能性があること、部活で使った電池なども落ちていたことが分かったので、ポイ捨てしないという一人ひとりの心がけが大切だとより強く感じました。

巻き芯回収では文化祭の準備ではたくさんのテープを使用することを実感し、また回収目標の数を大幅に超えることができ驚きました。今後は更に回収率を上げ、文化祭で出る他のゴミも活用できるか考えていきます。

文房具回収では、想像を超えた回収個数に圧倒され、また仕分けが大変でした。使わないきれいな文房具を捨てずに必要とする人達へ届けることができ嬉しく思います。私たちの活動は全て学校の皆さんの協力のもと行われてきたことを感じ、その大切さ・重要さを改めて知ることができました。

03. 継続するためのこれからの工夫

万全の準備でより多くの人参加できる取り組みに

活動を継続していくにあたり、より多くの人協力して活動を成功させることを考えていきます。落ち葉を土に還す活動とゴミ拾いはチームのメンバーでしか行ったことがないですが、外掃除で集めた落ち葉の行き先や校内や学校周りに落ちているゴミについてはもっと生徒や先生方に知ってもらう必要があると感じたので、チームのメンバーだけでなくもっと多くの人と一緒に活動ができるような工夫を考えたいです。

巻芯回収と文房具回収では、ポスターやメールでの周知を行い、できるだけ多くの人に協力してもらおうとしました。しかし、学校全体に知ってもらい回収率を上げるためにもう少し前から準備を進めポスターやメールでの周知に加えて呼びかけを行おうと思います。

また、充実した楽しい活動が継続できるようにやりたい事は失敗を恐れずにまず精一杯やってみて、少しでも世界がよりよくなればいいなと思います。

活動の略歴

- | | | |
|------|-----|---------------|
| 令和4年 | 1月 | 腐葉土1 |
| | 2月 | 腐葉土2 |
| | 4月 | ゴミ拾い1 |
| | 5月 | 卷芯回収始め |
| | 9月 | 卷芯送料確定 |
| | 9月 | 放課後 話し合い |
| 令和5年 | 10月 | ゴミ拾い2 |
| | 2月 | 話し合い、かえで祭と文房具 |
| | 3月 | 文房具トレー設置 |
| | 4月 | 昼ゴミ拾い3 |
| | 4月 | 昼ゴミ拾い4 |
| | 5月 | 話し合い 卷芯呼びかけ |
| | 6月 | 話し合い |
| | 7月 | ゴミ拾い5 東大通り |
| | 10月 | 文房具仕分け、卷芯数える |
| | 11月 | 卷芯箱に詰める |